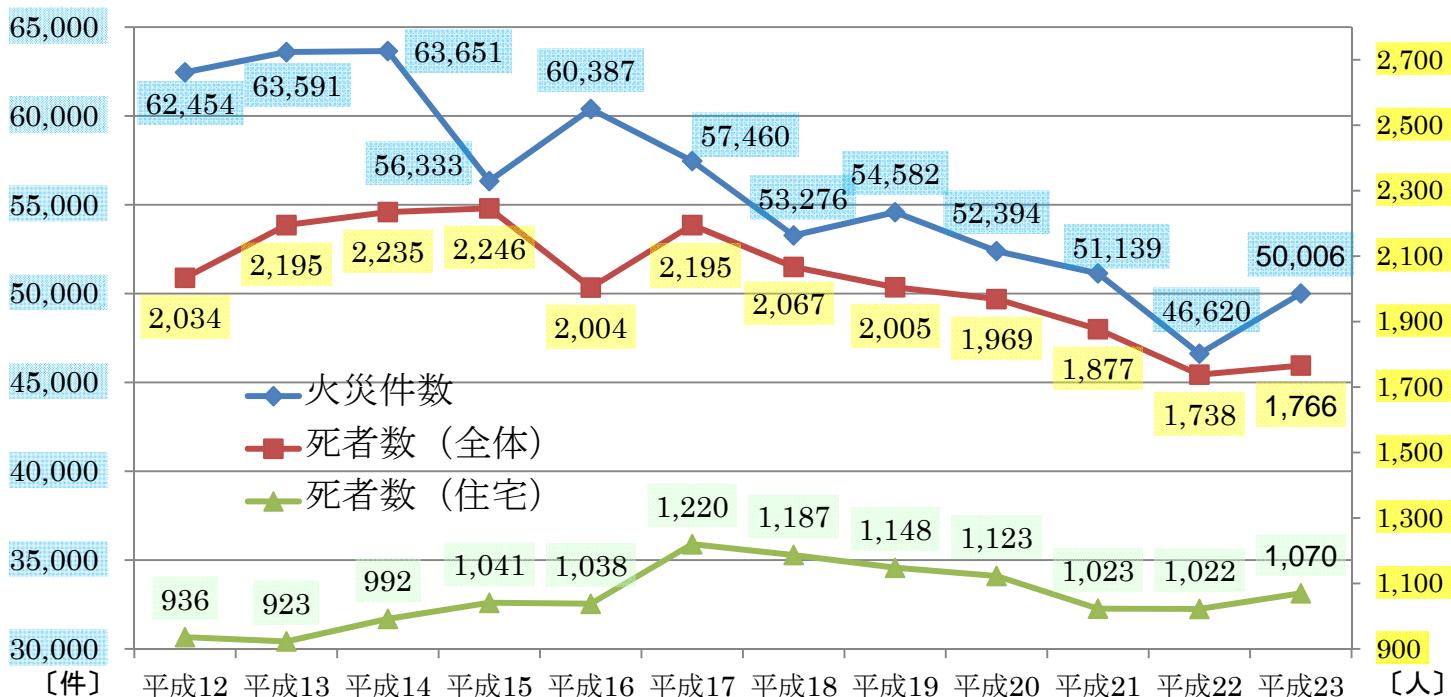


平成23年(1~12月)火災の状況



平成23年(1月～12月)における総出火件数は、50,006件で、前年同期より3,386件増加(+7.3%)しています。東日本大震災の影響による火災件数は330件でした。

火災による総死者数は、1,766人で、前年同期より28人増加しており、そのうち住宅火災による死者（放火自殺者等を除く）数は、1,070人前年同期より48人増加しています。1,070人のうち、65歳以上の高齢者は711人(66.4%)で、前年同期より70人増加(+10.9%)しています。また、住宅火災における死者の発生した経過別死者数を、前年同期と比較しますと、逃げ遅れ578人(26人の減・-4.3%)、着衣着火54人(10人の増・+22.7%)、出火後再進入20人(3人の減・-13.0%)、その他418人(67人の増・+19.1%)となっています。

総出火件数の50,006件を出火原因別にみると、「放火」5,632件(11.3%)、「たばこ」4,752件(9.5%)、「こんろ」4,178件(8.4%)「放火の疑い」3,931件(7.9%)、「たき火」3,443件(6.9%)の順となっております。「放火」と「放火の疑い」を合わせると9,563件となり、出火原因の約2割が「放火関連」となります。

林野火災の件数は、2,093件で、前年同期より701件増加(+50.4%)し、延べ焼損面積は約2,071haで、前年同期より約1,315ha増加(+174.1%)しています。例年、空気が乾燥する春先に林野火災が多発しており、林野庁と共同で火災予防意識の啓発を図り、予防対策強化等のため、春季全国火災予防運動期間中の3月1日から7日までを全国山火事予防運動の実施期間とし、平成24年は「忘れない 山への感謝と 火の始末」という統一標語のもと、様々な広報活動を通じて山火事の予防を呼びかけたそうです。



2011年1月高砂市で発生した山火事

『消すまでは 出ない行かない 離れない』

秋の火災予防運動 (H24.11.9~11.15.)

11月9日から秋の火災予防運動が実施されます。

本年度の全国統一防火標語『消すまでは 出ない行かない 離れない』です。

◆平成24年秋の火災予防運動重点目標（消防庁9月6日）

(1) 住宅防火対策の推進

- 住宅用火災警報器の設置徹底及び適切な維持管理の周知
- 住宅用火災警報器の悪質な訪問販売や詐欺等に係る被害防止のための周知
- 住宅用消火器をはじめとした住宅用防災機器等の普及促進
- たばこ火災に係る注意喚起
- 防炎品の普及促進

(2) 放火火災・連續放火火災防止対策の推進

- 「放火火災防止対策戦略プラン」を活用した放火火災に対する地域の対応力の向上
- パチンコ店及び物品販売店舗における放火火災防止対策の徹底
- 放火火災・連續放火火災による被害の軽減対策の実施

(3) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底

- 防火管理体制の充実
- 避難施設等及び消防用設備等の維持管理の徹底
- 防炎物品の使用の徹底及び防炎製品の使用の促進
- 防火対象物定期点検報告制度の周知徹底
- 違反のある防火対象物に対する是正指導の推進
- 個室ビデオ店等の個室型店舗における防火安全対策の徹底
- 高齢者や障害者等が入居する施設における防火安全対策の徹底
- 小規模雑居ビルにおける防火安全対策の徹底

(4) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進

- 製品の適切な使用・維持管理及び製品火災に関する注意情報の周知徹底



ポスター：三吉彩花さん



『実りの秋』(奈良県明日香村)